

全部で4ページ以内に収まるように作成して下さい

芸術活動助成申請書記入例（団体の場合）

公益財団法人朝日新聞文化財団 芸術活動助成申請書

20XX年10月1日

申請者名・申請団体名	公益財団法人朝日芸術財団			法人格名を含む正式な名称をご記入下さい。任意団体として登録・申請できるのは、定款・規約があり資金負担や実行責任分担が明確な実態のある団体に限ります。それらに該当しない個展・個人リサイタルやグループは代表者様個人として申請して下さい。（例：「〇〇展」実行委員会→団体として実態が伴っていないものは代表者個人名で登録を）aidan.or.jp	
代表者名（団体の場合のみ）	理事長 朝日太郎				
申請者住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1				
TEL	03-6269-9441	FAX	03-6269-9442		E-mail
事業名	朝日新進気鋭芸術家展 2026			名称未確定の場合は「〇〇〇（仮称）」として下さい	
会場名	有楽町朝日ギャラリー			会場が確定していない場合には（予定）として想定会場名を記載して下さい。但し、実際の会場が規模等を含め著しく異なる場合には、助成取消となる場合もあります。	
会場所在地	東京都千代田区有楽町				
開催日（期間）	20XX年10月1日～15日				
事業総額（単位：円）	6,000,000 円		助成申請額（単位：円）	700,000 円	

(1)入場者・来場者・展覧者の見込み数（総数）と入場料

9,000 人	入場 無料 ○ 有料	円～	円
---------	------------	----	---

(2)事業の主催者が申請者ではない場合の主催者情報と申請者との関係

主催者名	申請者が他の団体から事業実施を受託している場合や、ホールや美術館等の指定管理者となっている場合、その旨を記載して下さい。 主催者でない貸ホール事業者が、主催者である事業実施団体に代わって申請することはできません。
(同)住所	
申請者との関係	

(3)他の共催者・後援者・助成者・協賛社（予定含む）

代表的な名称のみの記載で結構です

共催		後援	文部科学省
助成	文化庁、(公財)美術助成財団	協賛	朝日ウィスキー株式会社

(4)事業の収支見込み

単位＝円

支出科目	金額	収入科目	金額
会場費	2,200,000 円	入場料	
設営費	1,000,000 円	寄附金	
制作費・製作費	0 円	協賛金	1,500,000 円
出演料・謝金	350,000 円	公的補助金	2,000,000 円
旅費・交通費	220,000 円	他の民間助成金	300,000 円
図録等制作費	500,000 円	物品販売売上	300,000 円
郵送・運搬費	700,000 円	広告料収入	
広告宣伝費	300,000 円		
賞金	500,000 円	★助成申請額	700,000 円
*その他の費用	230,000 円	収支差額(自己負担金)	1,200,000 円
支出合計	6,000,000 円	収入合計	6,000,000 円

*詳細を(11)に明記してください。

科目名は書き換えないで、該当すると思われる科目名を選んで金額を下さい。ここに記載されていない重要科目や、合計額の20%以上を占める科目がある場合には空欄に追加して下さい。

2

芸術活動助成申請書記入例（団体の場合）

(7)申請者に関する事項 氏名・名称 公益財団法人朝日芸術振興財団

団体種別・現職	公益財団法人		現在の貴団体のステイタスをご記入下さい。法人格を持たない場合は「任意団体」として下さい。
団体の目的・専門分野	芸術家への支援、文化財保護活動への助成、音楽祭の実施		
経歴	年月	履歴（主な学業・研修・芸術団体等所属歴・芸術活動歴・受賞歴など）	
	1992年4月	文化庁所管財団法人として朝日新聞社が基本財産を出損し設立	
	1993年4月	芸術活動助成事業を開始	
	1998年4月	(財)大阪国際フェスティバル協会を吸収合併し、同事業を主催	
	2011年4月	公益財団法人に認定される	
	2011年4月	文化財保護助成事業を開始	
	2012年4月	朝日新進気鋭芸術家展を開始	
	2013年6月	2012大阪国際フェスティバルが◎◎功労賞を受賞	

(8)主な出展者等に関する事項 ① 氏名・名称

現職	朝日芸術大学教授		専門分野	油彩、水彩
経歴	年月	履歴（主な学業・研修・芸術団体等所属歴・芸術活動歴・受賞歴など）		
	1984年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人展最優秀賞を受賞		
	1987年4月	パリに遊学しX X X氏、Y Y Y Y氏らに師事。		
	1992年3月	〇〇芸術大学大学院博士課程終了。〇〇画廊（東京）で国内初の個展。		
	2000年10月	◎◎芸術院奨励賞を受賞		
	2010年6月	◎◎芸術院賞を受賞		

主な出展者等に関する事項 ② 氏名・名称 朝日二郎

現職	築地芸術工科大学教授		専門分野	映像
経歴	年月	履歴（主な学業・研修・芸術団体等所属歴・芸術活動歴・受賞歴など）		
	1984年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人展最優秀賞を受賞		
	1987年4月	パリに遊学しX X X氏、Y Y Y Y氏らに師事。		
	1992年3月	〇〇芸術大学大学院博士課程終了。〇〇画廊（東京）で国内初の個展。		
	2000年10月	◎◎芸術院奨励賞を受賞		
	2010年6月	◎◎芸術院賞を受賞		

主な出展者等に関する事項 ③ 氏名・名称

現職			専門分野	
経歴	年月	履歴（主な学業・研修・芸術団体等所属歴・芸術活動歴・受賞歴など）		
	年月			
	年月			
	年月			
	年月			
	年月			

不要な欄・枠は削除してください。

芸術活動助成申請書記入例（団体の場合）

主な出展者等に関する事項 ④ 氏名・名称

現職			専門分野	
経歴	年月	履歴（主な学業・研修・芸術団体等所属歴・芸術活動歴・受賞歴など）		
	年月			
	年月	☆「主な出展者等・・・」を増やしたい場合にはこの枠をコピーして増やして構いません。但し、行数を少なくして全体が4ページに収まるようにしてください。そのほかの出演者・出展者等は、以下の「その他」欄で補足して下さい。 ☆「主な出展者等・・・」に記載すべき人数が少ない場合で、その他の説明量を増やしたい場合には、この「主な出演者等に関する事項」の不要な枠を削除して全体量を調整して下さい。		
	年月			
	年月			
	年月			
	年月			

(9)申請する事業が社会に与える影響や波及効果

美大生に広く作品公募・展示の機会をを広げ、創作・出品意欲を高めるとともに、オークションの同時開催により、出品者がプロとして自立する意識を高め、作品制作原資の調達にも寄与することが期待できる。展覧者には、オークション参加を通じて芸術活動を支援する意識が醸成されることが期待できる。

(10)助成の公表方法

チラシ、ホームページ、図録集に「助成：公益財団法人朝日新聞文化財団」と記載します。
また、プレスリリース時の配布資料にも明記します。

当財団による助成を受けたことを、どのような形で公表するのかを記載して下さい。現物をお送りいただくとともに、結果を事業報告書に記載していただきます。

(11)その他、申請にあたって伝えたい事項、事業の内容に関する補足説明など

2012年から実施して以来、以下の成果を上げている。

- ・オークション成立額：2012年（200万円）、2013年（250万円）、2014年（320万円）
- ・受賞者の受賞以降の受賞歴

2012年度受賞者：

XXXX氏（大賞）

2012年□□記念△△奨励賞受賞、2014年◎◎◎賞受賞

YYYY氏（奨励賞）

2014年△△賞受賞

2013年度受賞者

ZZZZ氏（大賞）

2013年◇◇賞奨励賞受賞、2014年△△△賞奨励賞受賞

WWWW氏（奨励賞）

2014年△△賞受賞

以 上